

■ 決 議 ■

パレスチナ自治区ガザ地区における人道目的の戦闘休止等の実現に関する決議

2023年10月7日、イスラエルとパレスチナのイスラム組織ハマスとの戦闘が始まり、パレスチナ自治区ガザ地区における5ヶ月間の死者は3万人を超えたと報道されている。このうち、特にガザ地区北部は戦闘の影響やイスラエル軍による検問などで、人道支援物資を運ぶことが難しくなっており、深刻な食料不足が生じるなど、人道状況は危機的なものとなっている。

イスラエルとハマスでは、カタールなどを仲介役として戦闘の休止と人質の解放などに向けた交渉をしており、エジプト、アメリカとの協議も続けていますが、交渉は難航していると報道されている。戦闘開始から5ヶ月、一刻も早い戦闘休止と海上輸送による支援物資などの人道支援を願う点では多くの県民が一致できるものと思われる。

よって、本県議会では、イスラエルとハマスの双方をはじめとする全ての当事者及び国際社会に対し、事態の解決に向けて次の事項を実現するよう強く求めるものである。

1. 人道目的の戦闘休止及び人質の即時・無条件の解放
2. 国際人道法を含む国際法の遵守
3. 民間人の被害の最小化、人道支援物資の供給を通じた人道危機の改善

以上、決議する。

令和6年3月22日

鹿 児 島 県 議 会

上記のとおり発議する。

令和6年3月22日

鹿児島県議会議員 平 原 志 保
橋 口 住 眞
小 川 みさ子
寿 はじめ
たいら 行 雄
伊 藤 浩 樹
西 村 協
おさだ 康 秀
大久保 博 文
ふくし山ノブスケ
前 野 義 春
瀬戸口 三 郎

藤崎剛
禧久伸一郎
永井章義
吉留厚宏
日高滋